

# 2台ピアノで紡ぐ音の世界



## ピアノデュオ&ソロリサイタル

加藤良一 2023年5月27日



ピアニストの桑子実千代さんと持田みどりさんが、2台ピアノ、連弾、ソロとピアノのさまざまな奏法による9回目のリサイタルを開きました。このリサイタルの1回目は、東日本大震災に見舞われた直後の2011年5月でした。



左:持田みどり、右:桑子実千代 (写真提供:持田みどり)

桑子実千代さんは、女声合唱団のクール・ヴァン・ヴェールやLa Merをはじめ埼玉を代表する合唱団のピアノを務めています。いっぽう、持田みどりさんは、かつて埼玉県合唱連盟で理事を務めていたこともあり、現在でも県連主催の彩の国プラチナ混声合唱団のピアノを受け持つなど県連とのつながりが深い方です。

このお二人は、ピアニストとしてのソロ活動に加え合唱のピアノを多く受け持つことでも共通点があり、若いころから交流が続いているといいます。ある時、息の合う二人で素敵なステージを創ってみようかとはなしがまとまりました。それぞれが特長を生かしたソロ演奏、それに加え、一人ではできない2台ピアノや連弾の曲も交えれば、拡がりのあるプログラムになり、お客様もきっと楽しんでいただけるにちがいない。そして、今年9回目のリサイタルに漕ぎつけました。

## ピアノデュオ&ソロリサイタル NO.9

□ 2023年5月14日 レイボックホール・大ホール(大宮)

□ 曲目

### I (2台ピアノ)

- ラヴェル作曲 ラ・ヴァルス

1st:持田みどり 2nd:桑子実千代

- サンサーンス作曲 死の舞踏 作品40

1st:桑子実千代 2nd:持田みどり

### (連弾)

- ラヴェル作曲 マメール ロワ 第1,2,4,5曲

1st:持田みどり 2nd:桑子実千代

### II (ソロピアノ) 持田みどり

- ラフマニノフ作曲 プレリュード 作品23 No.5,6,7

- ショパン作曲 ノクターン 作品62-2,1

### III (ソロピアノ) 桑子実千代

- ベートーヴェン作曲 ソナタ 作品53 ワルトシュタイン

### (連弾)

- ブラームス作曲 ハンガリー舞曲 第1番

1st:持田みどり 2nd:桑子実千代

2台ピアノ(二重奏)や1台でのピアノ連弾はあまり聴く機会が多くありませんが、お二人の確かな技術と息の合った演奏で大いに楽しめるステージとなりました。

ピアノ高音側の第1奏者(プリモPrimo:1<sup>st</sup>)と低音側の第2奏者(セコンドSecondo:2<sup>nd</sup>)が、曲によって入れ替わりながら演奏しました。曲紹介の中で、中音域でプリモの左手とセコンドの右手が大きく接近し、さら交差することもあります。けっこう見ているスリリングな感じがします。

## ( 曲 目 )

### ● ラヴェル作曲 ラ・ヴァルス

モーリス・ラヴェル「ラ・ヴァルス」の原曲は、管弦楽曲「管弦楽のための舞踏詩」ですが、それを2台ピアノ版に編曲した作品です。ラヴェルは、19世紀末のウィンナ・ワルツへの礼賛として着想したと、つぎのように記しています。ただし、原曲に先立って、2台ピアノ版が1920年10月初演、2ヶ月後の12月、パリにおいて、原曲の管弦楽版が初演されています。

渦巻く雲の中から、ワルツを踊る男女がかすかに浮かび上がって来よう。雲が次第に晴れ上がる。と、A部において、渦巻く群集で埋め尽くされたダンス会場が現れ、その光景が少しずつ描かれていく。B部のフォルティッシモでシャンデリアの光がさんざめく。1855年ごろのオーストリア宮廷が舞台である。 [ラヴェル]

曲の冒頭、低弦のトレモロによる混沌とした雰囲気になり、次第にワルツのリズムとメロディが現われてきます。その後、転調を繰り返しながら、主題がふたたび形を変えて現れたのち、最後は唐突に曲が閉じられます。オープニングを飾るに相応しい華やかで魅惑的な演奏でした。

### ● サンサーンス作曲 死の舞踏 作品40

「死の舞踏」の原曲は、カミーユ・サン＝サーンスが作曲した4つの交響詩の一つで、その中でも有名な作品です。

真夜中午前0時の時計の音が始まると骸骨が墓から抜け出し、不気味な踊りを始めます。踊りはどんどん激しくなり、骸骨は踊り狂っていますが、そこへ夜明けを告げる雄鶏の鳴き声が突如として響きわたります。たちまち骸骨は墓に逃げ帰り、朝陽がのぼるころには、辺りにはふたたび静寂が訪れます。

1875年に行われた初演は無残にも失敗に終わりました。とくにシロフォンによる骨のぶつかり合う表現などは、悪趣味との非難されたようです。しかし、その後人気が出、現在でもよく演奏される曲となっています。

### ● ラヴェル作曲 マメール ロワ 第1,2,4,5曲

「マメール・ロワ」は、「マザー・グース」を題材に作曲したピアノ連弾の組曲です。第1曲「眠れる森の美女のパヴァーヌ」にはじまり、第2曲「親指小僧」、第3曲「パゴダの女王レドロネット」、第4曲「美女と野獣の対話」、第5曲「妖精の園」の5曲から構成されています。今回は第3曲を割愛して演奏されました。

### ● ラフマニノフ作曲 プレリユード 作品23 No.5,6,7

プレリユード(前奏曲)作品23は、1903年に発表された前奏曲集です。作品23-5は大ピアニストであったラフマニノフらしく、冒頭から和音が連続し、あらゆるテクニックを要求する難曲とされています。持田さんは、精神を集中し、ピアノに全身で立ち向かう気迫でみごとな演奏を聴かせてくれました。

- ショパン作曲 ノクターン 作品62-2,1

ショパンのノクターンは装飾音を散りばめた優雅なイメージが強いですが、この曲は素朴でシンプルな感じがします。とても静謐な雰囲気に満たされる曲です。ショパン晩年の作品ということで、最後は静かに曲を閉じます。持田さんの感性にとてもしっかり馴染んでいました。

- ベートーヴェン作曲 ソナタ 作品53 ワルトシュタイン

この作品は、ベートーヴェンのボン時代におけるパトロンであったワルトシュタイン伯爵に献げられた曲です。ベートーヴェンがピアノの技術的限界を押し広げることに関心を示した時代に作曲され、華麗かつ壮大な曲となっています。Youtubeには無数に演奏がアップされている人気のある作品です。桑子さんの熱演が聴衆を惹きつけました。

- ブラームス作曲 ハンガリー舞曲 第1番

ブラームスは若いころに「チャールダーシュ」と出会い、そのエキゾチックな雰囲気が大いに気に入り21曲からなる「ハンガリー舞曲集」として作曲したといえます。「チャールダーシュ」は、流浪の民ロマ(ジプシー)たちが、ヨーロッパ中で、生活のために行っていた音楽やダンスのことです。

第1番はとくに有名で、前述の「ワルトシュタイン」と同じくYoutubeにたくさんの演奏がアップされています。ロマたちが置かれた辛い境遇、そんななかでも日々の楽しみを求め続ける生き様を軽快なアレグロ・モルト(非常に速く)で表現しています。ブラームス自身が、管弦楽版へも編曲しています。演奏会のフィナーレを飾るに相応しい曲でしょうか。

## プロフィール

### 桑子実千代

国立音楽大学ピアノ科卒業後、パリ・エコール・ノルマル音楽院に留学。帰国後はソロ、室内楽の演奏活動を行う。合唱ではクール・ヴァン・ヴェール、La Mer、コーラスせきれい、ピアチェーレ、女声合唱団彩花、若葉の他、県内の高校でピアニストを務める。ピアノを大石潤、近江康夫、J.ジャンティ、L.グッソーの各氏に師事。現在、埼玉県立松伏高校非常勤講師、埼玉県音楽家協会、埼玉新演奏家連盟、日本演奏連盟会員。

### 持田みどり

桐朋学園附属子供の為の音楽教室を経て桐朋女子高等学校音楽科及び桐朋学園大学ピアノ科を卒業。ピアノを林文夫、北村陽子、荻野美晴・千里の各氏に、音楽理論を平吉毅州、新実徳英、三善 晃、指揮法を高階正光の各氏に師事。第1回アンサンブルコンテストに声楽家の平船智子さんと参加し、最優秀賞受賞。水声コーラス、双葉コーラス、虹の会、コールジュノー、栄東中学・高校コーラス部、混声合唱団SAYのピアニストを務める他自らもグラツィオーソを主宰する等の演奏活動を行っている。

今回の会場、レイボック大ホール(1400席)は、2022年4月、さいたま市民会館おおみやとして大宮駅東口すぐそばに新設されたビルの7階にあり、小ホール(340席)も備えた使いやすいホールです。4月の埼玉県合唱連盟総会はこの小ホールで開催されました。ホール名称「RaiBoC」とは、旧大宮市を象徴する3つの文化、「Railway(鉄道)」、「Bonsai(盆栽)」、「Comic・Cartoon」(漫画)からの造語です。



余談ですが、今回の演奏会は『ピアノデュオ&ソロリサイタル』と名付けられていました。演奏会は「コンサート」と「リサイタル」という言い方がありますが、どちらがうのでしょうか。調べてみると、聴衆の前で歌や演奏を披露する点では同じでも、演奏者の人数によってちがってくるようです。

「コンサート」は何人かが集まって行う「演奏会」や「音楽会」のことを指し、いっぽう、「リサイタル」は一人の演奏者や歌手が聴衆に向かって披露する「独奏会」や「独唱会」をいうそうです。また、「コンサート」は「公開演奏会」を意味するため、特定の人を対象に聞かせる私的演奏会は「コンサート」と呼ばないともいいます。ただし今では、音楽ジャンルによってもちがいがあり、一人の時に「リサイタル」を用いるのは、主に、クラシックやシャンソンなどで、二人以上が合同で行う独唱会や独奏会は、例外的に「ジョイントリサイタル」というようです。

[Back](#)[音楽・合唱コーナーTOPへ](#)[Home](#)[HOME PAGEへ](#)